



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 森永製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2201 URL <https://www.morinaga.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 栄二郎
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 岡本 奈津子 (TEL) 03-3456-0150
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	98,434	5.4	10,231	△22.4	10,498	△23.4	6,584	△31.0
2022年3月期第2四半期	93,422	10.0	13,188	14.2	13,700	14.4	9,544	14.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,085百万円(△51.6%) 2022年3月期第2四半期 14,653百万円(9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	134.83	—
2022年3月期第2四半期	189.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	204,256	126,372	61.3
2022年3月期	214,300	131,174	60.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 125,137百万円 2022年3月期 130,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	194,300	7.2	13,500	△23.7	14,050	△23.0	8,500	△69.4
								176.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	54,189,769株	2022年3月期	54,189,769株
2023年3月期2Q	6,080,447株	2022年3月期	4,252,091株
2023年3月期2Q	48,838,446株	2022年3月期2Q	50,297,670株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2023年3月期2Q34,181株、2022年3月期38,764株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	14

※参考資料 2023年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、食料品製造セグメントに関する顧客との契約から生じる収益を分解した情報の区分を変更したことに伴い、以下の比較分析における食料品製造セグメントの区分を変更し、区分変更後の数値で前年同四半期連結累計期間との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国の経済は、ロシア・ウクライナ情勢や急激な円安の進行に起因する原材料及びエネルギー価格の高騰により、依然として先行き不透明な状況が続く、事業を取り巻く環境は大きく変化しております。

このような中、売上高は、984億3千4百万円と前年同期実績に比べ50億1千2百万円(5.4%)の増収となりました。

損益は、増収効果及び価格改定効果がありましたが、原材料及びエネルギー価格の高騰や中長期の成長に向けた戦略的な広告投資などにより、営業利益は前年同期実績に比べ29億5千7百万円(22.4%)減益の102億3千1百万円、経常利益も前年同期実績に比べ32億2百万円(23.4%)減益の104億9千8百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ29億6千万円(31.0%)減益の65億8千4百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造>

菓子食品事業

ビスケットカテゴリーでは、在宅ワークなど新しい生活スタイルによるお茶請け菓子としての需要定着を背景に、「森永ビスケット」は当第2四半期に発売した新商品が奏功するなど好調に推移しましたが、第1四半期に実施した生産ライン増設工事による一時的な商品供給制約の影響が大きく、前年同期実績を下回りました。現在、商品供給の制約は解消しております。

キャンディカテゴリーでは、多様な食感ラインナップを擁する「ハイチュウ」が、8月12日「ハイチュウの日」に合わせた新商品の発売及びプロモーションを展開したことで、スティック・パウチ・袋の全ての商品形態で好調を継続するなど、7月の価格改定後も引き続き幅広いニーズを獲得しました。また、「森永ラムネ」は新しい食感が楽しめる新商品「バリポリラムネ」を発売し、グループ全体で前年同期実績を上回りました。

チョコレートカテゴリーでは、「カレ・ド・ショコラ」は上質チョコレートブランドとして価値強化に取り組みましたが、7月の価格改定の影響を受け苦戦いたしました。一方、「ダース」は9月の品質リニューアルに合わせたプロモーション展開が奏功し、好調に推移しました。また、「チョコボール」は「大玉チョコボール」のリニューアルを実施し、前年同期実績並みとなりました。

食品カテゴリーでは、「森永甘酒」「森永ココア」とともに健康ブランドとして強化するべく、引き続き需要獲得に取り組みましたが、前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品事業全体の売上高は332億1千4百万円と前年同期実績に比べ3億8千9百万円(1.2%)減となりました。

損益は、価格改定により収益性の改善に取り組みましたが、原材料及びエネルギー価格の高騰の影響が大きく、営業利益は前年同期実績に比べ14億9千1百万円(96.2%)減益の5千8百万円となりました。

冷菓事業

「ジャンボ」グループは、発売50周年を迎える「チョコモナカジャンボ」と「バニラモナカジャンボ」それぞれにおいて積極的なプロモーションを展開したことで、6月の価格改定後も堅調に推移し前年同期実績を上回りました。通年発売3年目となる「板チョコアイス」は、初のTVCM投入など更なる拡大に取り組みましたが、前年に売上高を大きく伸ばした反動もあり、

前年同期実績を下回りました。一方、「アイスボックス」は、喫食シーン訴求などのターゲット別のプロモーション展開により需要を獲得し、好調に推移しました。

これらの結果、冷菓事業全体の売上高は249億4千2百万円と前年同期実績に比べ3億3千8百万円(1.3%)減となりました。

損益は、価格改定により収益性の改善に取り組みましたが、原材料及びエネルギー価格の高騰、減価償却費の増加により、営業利益は前年同期実績に比べ13億1千5百万円(27.4%)減益の34億8千6百万円となりました。

i n 事業

「i nゼリー」は、コロナ禍における生活スタイルの変化に対応し、間食や仕事・勉強中等の飲用シーンの他、体調不良時の栄養補給や健康維持ニーズを引き続き獲得し、好調に推移しました。積極的なプロモーション展開及び商品展開により、飲用シーンの開拓とターゲットの拡大に継続して取り組んでおります。「i nバー」は、プロテイン摂取手段の多様化による競争環境の激化が続き、前年同期実績を下回りました。

これらの結果、i n事業全体の売上高は177億9千万円と前年同期実績に比べ17億5千8百万円(11.0%)増となりました。

損益は、原材料価格の高騰や、積極的な広告投資の影響もありましたが、売上高が好調に推移したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ2億1千3百万円(4.4%)増益の50億4千3百万円となりました。

通販事業

「おいしいコラーゲンドリンク」は、定期顧客数を引き続き順調に増やし、売上高は前年同期実績を上回りました。通販事業の第2の柱候補の商品である「おいしい青汁」も、順調に定期顧客数を増やし、売上高を拡大しております。

これらの結果、通販事業全体の売上高は51億2百万円と前年同期実績に比べ7億9千6百万円(18.5%)増となりました。

損益は、順調な定期顧客獲得を背景とした積極的な広告投資の継続、原材料価格の高騰により、営業利益は前年同期実績に比べ4千3百万円(11.5%)減益の3億2千6百万円となりました。

事業子会社

(株)アントステラは、大手量販店の銘店コーナーの好調に加え、全国の直営店では量り売りやコンテンツとのコラボレーション企画により販売が好調に推移し、売上高は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年、及び前年同期実績を上回りました。森永市場開発(株)は、行動制限の緩和により、テーマパーク及びアンテナショップにおける販売が好調に推移し、売上高は前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、事業子会社全体の売上高は35億3千8百万円と前年同期実績に比べ7億1千9百万円(25.5%)増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ1億5千5百万円(489.6%)増益の1億8千6百万円となりました。

[国内における主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品事業		冷菓事業	
森永ビスケット	97	ジャンボグループ	102
ハイチュウ	111	板チョコアイス	78
森永ラムネ	108	ザ・クレープ	—
カレ・ド・ショコラ	88	アイスボックス	111
ダース	111	i n 事業	
チョコボール	100	i nゼリー	117
森永甘酒	92	i nバー	85
森永ココア	94	通販事業	
		おいしいコラーゲンドリンク	117

※表中の数値は国内販売実績にて算出

米国事業

「HI-CHEW」は、2021年12月の価格改定以降も全米各地において販売店率の拡大に加え、スティック・スタンドパウチ・袋など全ての商品形態で店頭回転の好調が続き、前年同期実績を上回りました。また、米国事業の第2の柱として本格的な取組みをスタートしたゼリー飲料「Charge1」は、引き続きスポーツイベントでのサンプリング活動をはじめ、PR活動やWEB広告の展開等、米国市場でのブランド認知向上に向けてターゲットへの接点拡大の取組みを積極的に進めております。

これらの結果、米国事業全体の売上高は66億3千1百万円と前年同期実績に比べ18億9千6百万円(40.0%)増となりました。

損益は、増収及び価格改定効果がありましたが、原材料価格や海上運賃の高騰、人件費の増加や「Charge1」への先行的な広告投資により、営業利益は前年同期実績に比べ1億2千8百万円(13.9%)減益の7億9千3百万円となりました。

中国・台湾・輸出等

中国ではロックダウンの影響を大きく受け、「HI-CHEW」・輸入品ともに販売は苦戦しました。台湾では昨年は新型コロナウイルス感染拡大により売上が苦戦した反動もあり、「HI-CHEW」は前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、中国・台湾・輸出等全体の売上高は32億7千7百万円と前年同期実績に比べ3億2千6百万円(11.0%)増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ3千5百万円(11.4%)増益の3億3千6百万円となりました。

これらの結果、＜食料品製造＞の売上高は944億9千7百万円と前年同期実績に比べ5.3%増となりました。セグメント利益は100億5千8百万円と前年同期実績に比べ30億3千3百万円の減益となりました。

＜食料卸売＞

売上高は、26億5千8百万円と前年同期実績に比べ9.0%増となりました。セグメント利益は5千6百万円と前年同期実績に比べ1千1百万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス＞

売上高は、9億5千6百万円と前年同期実績に比べ0.5%増となりました。セグメント利益は4億1千8百万円と前年同期実績に比べ2千2百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高3億2千1百万円、セグメント利益9千9百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は2,042億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ100億4千4百万円減少しております。主な要因は、受取手形及び売掛金や商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加した一方で、現金及び預金や投資有価証券が減少したことなどによるものであります。

負債の残高は778億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億4千2百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,263億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億2百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金が増加した一方で、純資産から控除する自己株式が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.6ポイント増加し、61.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想数値につきましては、国内、海外ともに売上は堅調に伸長する見込みです。一方、利益面につきましては、売上高の増収ならびに価格改定効果等の実現に取り組んでおりますが、期初時点の想定を上回る原材料価格やエネルギーコストの上昇、急速な円安の進行によって今後も厳しい状況が継続するものと想定されます。その結果、前回公表の予想数値を下回る見通しとなりましたため以下のとおり修正いたします。

2023年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり90円に変更ありません。

なお、当該予測数値の修正に関する事項は、本日(2022年11月10日)公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	190,000	16,500	16,900	10,700
今回修正予想(B)	194,300	13,500	14,050	8,500
増減額(B-A)	4,300	△3,000	△2,850	△2,200
増減率(%)	2.3	△18.2	△16.9	△20.6
(参考)前期連結実績 (2022年3月期)	181,251	17,685	18,247	27,773

※業績予想の前提となる在外子会社換算レートにつきましては、1米ドル132円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,652	42,214
受取手形及び売掛金	22,313	25,025
商品及び製品	13,645	15,905
仕掛品	374	449
原材料及び貯蔵品	9,736	12,841
未収還付法人税等	157	2
その他	9,236	7,411
貸倒引当金	△48	△50
流動資産合計	112,067	103,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,011	29,456
機械装置及び運搬具(純額)	29,375	29,114
土地	21,318	20,785
その他(純額)	4,347	5,344
有形固定資産合計	85,053	84,701
無形固定資産		
のれん	98	49
その他	211	202
無形固定資産合計	309	251
投資その他の資産		
投資有価証券	10,447	8,833
退職給付に係る資産	4,232	4,231
繰延税金資産	1,191	1,464
その他	1,034	1,010
貸倒引当金	△36	△35
投資その他の資産合計	16,869	15,503
固定資産合計	102,233	100,455
資産合計	214,300	204,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,392	23,142
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払金	10,538	10,431
未払法人税等	9,974	2,730
返金負債	3,611	4,106
賞与引当金	2,697	2,714
資産除去債務	453	344
その他	12,479	10,967
流動負債合計	70,147	64,438
固定負債		
役員株式給付引当金	82	74
環境対策引当金	274	273
退職給付に係る負債	8,231	8,387
受入敷金保証金	3,642	3,621
その他	748	1,087
固定負債合計	12,978	13,445
負債合計	83,126	77,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,292	17,292
利益剰余金	97,886	99,973
自己株式	△12,717	△19,956
株主資本合計	121,074	115,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,396	4,189
繰延ヘッジ損益	△1	68
為替換算調整勘定	1,304	2,817
退職給付に係る調整累計額	2,261	2,139
その他の包括利益累計額合計	8,960	9,214
非支配株主持分	1,139	1,234
純資産合計	131,174	126,372
負債純資産合計	214,300	204,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	93,422	98,434
売上原価	52,403	57,611
売上総利益	41,018	40,822
販売費及び一般管理費	27,830	30,591
営業利益	13,188	10,231
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	459	174
その他	157	176
営業外収益合計	629	358
営業外費用		
支払利息	17	17
持分法による投資損失	20	1
減価償却費	58	41
その他	22	31
営業外費用合計	117	91
経常利益	13,700	10,498
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	0	273
受取保険金	—	100
特別利益合計	2	377
特別損失		
固定資産除売却損	190	791
減損損失	—	630
特別損失合計	190	1,422
税金等調整前四半期純利益	13,511	9,453
法人税、住民税及び事業税	4,368	2,594
法人税等調整額	△522	182
法人税等合計	3,846	2,777
四半期純利益	9,665	6,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,544	6,584

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	9,665	6,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,515	△1,207
繰延ヘッジ損益	△15	68
為替換算調整勘定	576	1,661
退職給付に係る調整額	△89	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	—	6
その他の包括利益合計	4,987	409
四半期包括利益	14,653	7,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,436	6,838
非支配株主に係る四半期包括利益	217	246

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,511	9,453
減価償却費	4,815	4,920
減損損失	—	630
のれん償却額	49	49
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	12	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	114	117
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△78	△135
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△0
受取利息及び受取配当金	△472	△182
支払利息	17	17
持分法による投資損益(△は益)	20	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△273
固定資産売却損益(△は益)	42	53
固定資産除却損	146	734
受取保険金	—	△100
売上債権の増減額(△は増加)	△3,328	△2,284
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,641	△4,697
仕入債務の増減額(△は減少)	2,919	2,447
その他	1,062	△405
小計	17,174	10,335
利息及び配当金の受取額	469	183
利息の支払額	△16	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△516	△9,474
保険金の受取額	—	100
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,110	1,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34	△94
有形固定資産の取得による支出	△10,713	△6,641
有形固定資産の売却による収入	2	165
無形固定資産の取得による支出	△5	△0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	283
その他	△110	△179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,862	△6,468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△58	△7,239
自己株式の売却による収入	51	—
配当金の支払額	△4,025	△4,497
非支配株主への配当金の支払額	△128	△151
その他	△181	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,343	△12,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	611
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,141	△16,819
現金及び現金同等物の期首残高	31,568	60,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,709	43,327

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社等の収益及び費用は、従来、当該在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更は、昨今の為替変動が著しい経済情勢の中、当社グループの米国を中心とした海外事業の拡大に伴い、在外子会社等の売上高及び損益の重要性が今後さらに増加することが見込まれることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について、前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響）に記載の仮定に重要な変更は行っておらず、当該仮定のもと固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大状況や経済への影響によっては、将来の財政状態及び経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

場所	用途	種類及び減損損失（百万円）				
		建物及び構築物	機械装置及び運搬具	土地	その他	合計
神奈川県横浜市	株森永生科学研究所（売却予定資産）	91	—	538	—	630

(資産グルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。ゴルフ場、賃貸用資産、店舗、遊休資産については物件ごとに、のれんについては会社単位でグルーピングをしております。特定の事業との関連が明確でない資産については共用資産としております。

(減損損失の認識に至った経緯)

売却する方針を決定したため、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

正味売却価額により測定しており、適切に市場価格を反映していると考えられる指標等により合理的に算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	89,715	2,438	952	93,106	315	93,422	—	93,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	121	0	189	455	645	△645	—
計	89,783	2,560	952	93,296	771	94,067	△645	93,422
セグメント利益	13,091	67	440	13,599	98	13,697	△508	13,188

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△508百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△518百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	94,497	2,658	956	98,112	321	98,434	—	98,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	182	0	221	464	686	△686	—
計	94,535	2,840	957	98,333	786	99,120	△686	98,434
セグメント利益	10,058	56	418	10,532	99	10,632	△400	10,231

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△400百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△409百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(表示方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報を、「(収益認識関係)」に記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報も「(収益認識関係)」に記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	食料品製造	食料卸売	不動産及びサービス	その他	調整額	合計
減損損失	—	—	—	630	—	630

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、各セグメントを主要な売上管理区分に分解しております。

(単位:百万円)

報告セグメント	主な製品・地域区分	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
食料品製造	菓子食品事業	33,603	33,214
	冷菓事業	25,280	24,942
	i n事業	16,032	17,790
	通販事業	4,306	5,102
	事業子会社等	2,806	3,537
	国内計	82,028	84,588
	米国事業	4,735	6,631
	中国・台湾・輸出等	2,951	3,277
	海外計	7,686	9,908
	小計	89,715	94,497
食料卸売	業務用食品の卸売	2,438	2,658
不動産及びサービス	ゴルフ場経営	356	372
その他(注)		315	321
顧客との契約から生じる収益 合計		92,827	97,849
不動産及びサービス	不動産賃貸	595	584
その他の収益 合計		595	584
外部顧客への売上高 合計		93,422	98,434

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

(表示方法の変更)

従来、食料品製造セグメントに関する顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「菓子食品」「冷菓」「健康」に区分しておりましたが、「2030経営計画」「2021中期経営計画」に沿った当社グループの経営管理の実態を明瞭に表示するため、第1四半期連結会計期間より、「菓子食品事業」「冷菓事業」「i n事業」「通販事業」「事業子会社等」「米国事業」「中国・台湾・輸出等」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

1 社債の発行

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、無担保社債（サステナビリティボンド）の発行を下記のとおり決議いたしました。

第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）

- | | |
|---------|---------------------------|
| (1)発行総額 | 90億円以内 |
| (2)発行価格 | 額面100円につき100円 |
| (3)利率 | 年1.0%以下 |
| (4)発行時期 | 2022年11月10日から2023年3月31日まで |
| (5)償還期限 | 5年 |
| (6)償還方法 | 満期一括償還 |
| (7)資金使途 | (仮称) 森永製菓芝浦ビルの建替え費用 |

2 自己株式の消却

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を下記のとおり決議いたしました。

- | | |
|----------------|--|
| (1)消却する株式の種類 | 普通株式 |
| (2)消却する株式の数 | 5,400,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合9.96%) |
| (3)消却予定日 | 2022年11月30日 |
| (4)消却後の発行済株式総数 | 48,789,769株 |

2023年3月期 第2四半期決算短信補足資料

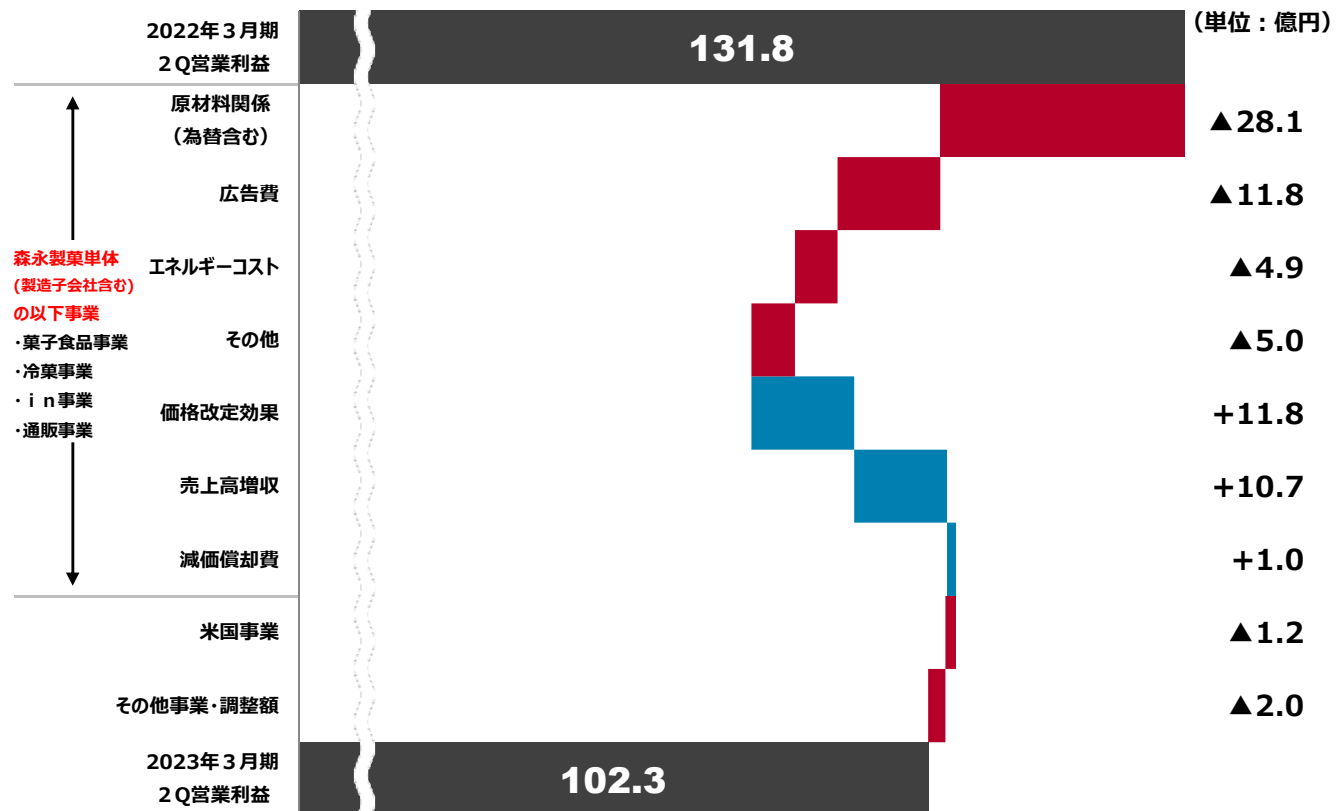
【当第2四半期連結累計期間】

① 業績

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	93,422		98,434		5,012		5.4
売上原価	52,403	56.1	57,611	58.5	5,208	2.4	9.9
売上総利益	41,018	43.9	40,822	41.5	▲ 196	△ 2.4	△ 0.5
販売費及び一般管理費	27,830	29.8	30,591	31.1	2,761	1.3	9.9
販売促進費	2,328	2.5	2,715	2.8	387	0.3	16.6
広告宣伝費	3,820	4.1	5,030	5.1	1,210	1.0	31.7
運賃保管料	8,297	8.9	8,772	8.9	475	0.0	5.7
給料手当	4,406	4.7	4,633	4.7	227	△ 0.0	5.2
賞与引当金繰入額	1,382	1.5	1,437	1.5	55	△ 0.0	4.0
その他	7,595	8.1	8,002	8.1	407	△ 0.0	5.4
営業利益	13,188	14.1	10,231	10.4	▲ 2,957	△ 3.7	△ 22.4
営業外収益	629	0.7	358	0.4	▲ 271	△ 0.3	△ 43.0
営業外費用	117	0.1	91	0.1	▲ 26	△ 0.0	△ 22.2
経常利益	13,700	14.7	10,498	10.7	▲ 3,202	△ 4.0	△ 23.4
特別利益	2	0.0	377	0.4	375	0.4	—
特別損失	190	0.2	1,422	1.4	1,232	1.2	647.5
税金等調整前四半期純利益	13,511	14.5	9,453	9.6	▲ 4,058	△ 4.9	△ 30.0
法人税等	3,846	4.1	2,777	2.8	▲ 1,069	△ 1.3	△ 27.8
四半期純利益	9,665	10.3	6,676	6.8	▲ 2,989	△ 3.5	△ 30.9
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	0.1	91	0.1	▲ 30	△ 0.0	△ 24.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,544	10.2	6,584	6.7	▲ 2,960	△ 3.5	△ 31.0

② 営業利益増減分析



③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	89,715	94,497	4,782	5.3
(売上高構成比)	(96.0%)	(96.0%)		
セグメント利益	13,091	10,058	▲ 3,033	△ 23.2
食料卸売				
売上高	2,438	2,658	220	9.0
(売上高構成比)	(2.6%)	(2.7%)		
セグメント利益	67	56	▲ 11	△ 17.4
不動産及びサービス				
売上高	952	956	4	0.5
(売上高構成比)	(1.0%)	(1.0%)		
セグメント利益	440	418	▲ 22	△ 5.0
その他				
売上高	315	321	6	1.9
(売上高構成比)	(0.4%)	(0.3%)		
セグメント利益	98	99	1	1.2

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 国内・海外売上高

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
国内売上高	85,707	88,409	2,702	3.2
海外売上高	7,714	10,024	2,310	29.9
連結売上高	93,422	98,434	5,012	5.4

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率(対連結売上高)	8.3%	10.2%
-----------------	------	-------

⑤ 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額
設備投資額	7,355	4,369	▲ 2,986
減価償却費	4,815	4,920	105
研究開発費	1,099	1,401	302

⑥ 2030経営計画における重点領域 売上高

(単位:億円)

重点領域	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
in事業	164	183	19	11.2
通販事業	43	51	8	19.4
米国事業	47	66	19	40.0
冷菓事業	252	249	▲ 3	△ 1.3
合計	507	550	43	8.3
重点領域売上高比率 (対連結売上高)	54.4%	55.9%		

(注)1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 in事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 通販事業は海外向けの売上高が含まれております。

⑦ 事業別 売上高・営業利益

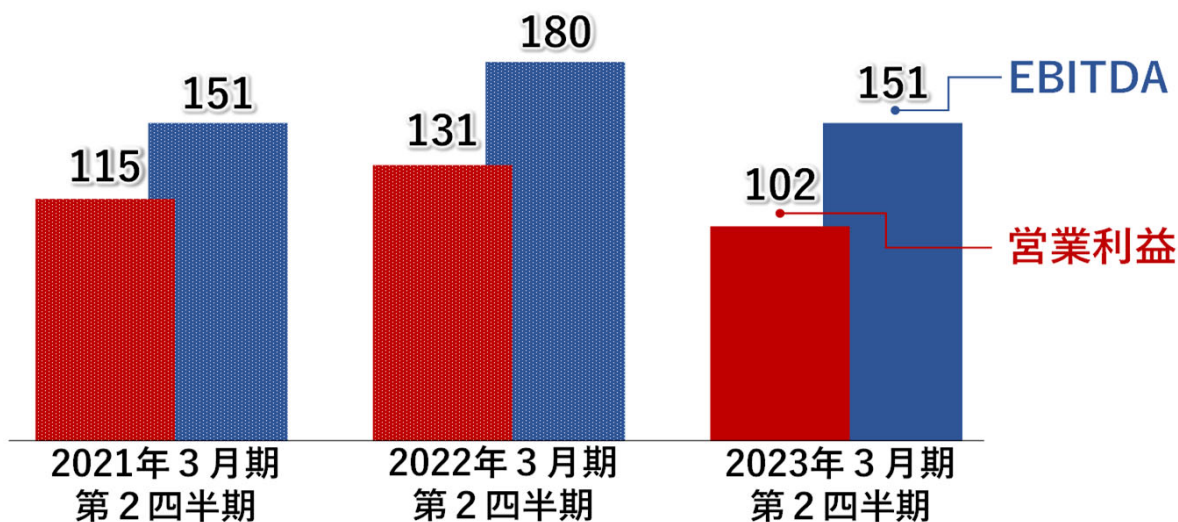
(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
菓子食品事業	336	332	▲ 4	△ 1.2	15	0	▲ 15	△ 96.2
冷菓事業	252	249	▲ 3	△ 1.3	48	34	▲ 14	△ 27.4
in事業	160	177	17	11.0	48	50	2	4.4
通販事業	43	51	8	18.5	3	3	▲ 0	△ 11.5
事業子会社	59	67	8	14.3	1	3	2	72.8
その他	5	5	0	0.1	0	0	▲ 0	△ 18.5
国内計	857	884	27	3.1	117	92	▲ 25	△ 21.4
米国事業	47	66	19	40.0	9	7	▲ 2	△ 13.9
中国・台湾・輸出等	29	33	4	15.0	3	3	0	11.4
海外計	76	100	24	30.4	12	11	▲ 1	△ 7.7
調整額等					1	▲ 1	▲ 2	—
合計	934	984	50	5.4	131	102	▲ 29	△ 22.4

- (注) 1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。
 2 菓子食品事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。
 3 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。

⑧ 営業利益及びEBITDA推移

(単位:億円)



- (注) 1 EBITDAは簡易版を使用→営業利益+減価償却費
 2 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期第2四半期の数値については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

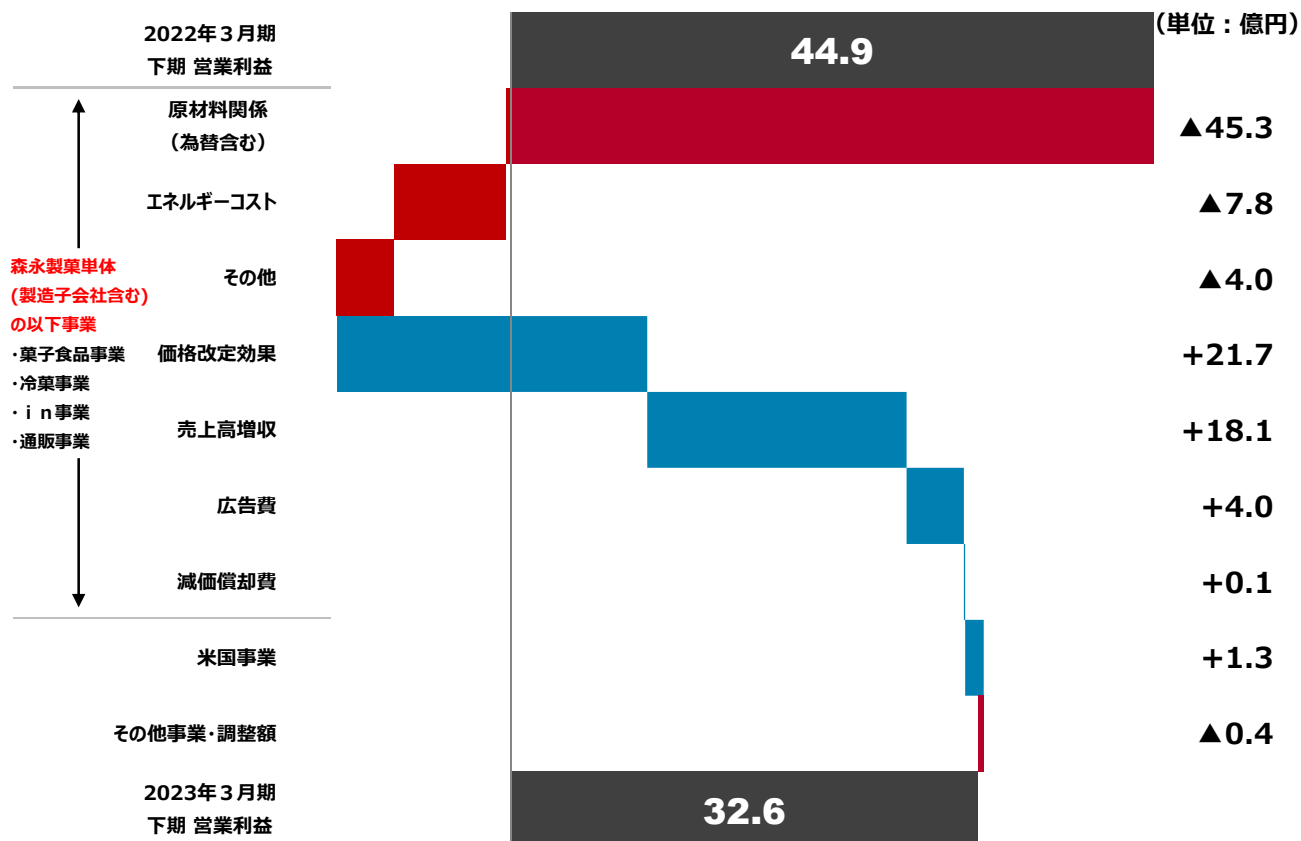
【下期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3・4四半期	2023年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	87,829	95,865	8,036	9.2
営業利益	4,497	3,268	▲ 1,229	△ 27.3
経常利益	4,547	3,551	▲ 996	△ 21.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,229	1,915	▲ 16,314	△ 89.5

② 営業利益増減分析



③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2022年3月期 第3・4四半期	2023年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	83,035	91,002	7,967	9.6
(売上高構成比)	(94.5%)	(94.9%)		
セグメント利益	4,348	3,270	▲ 1,078	△ 24.8
食料卸売				
売上高	3,496	3,541	45	1.3
(売上高構成比)	(4.0%)	(3.7%)		
セグメント利益	278	263	▲ 15	△ 5.3
不動産及びサービス				
売上高	963	1,043	80	8.2
(売上高構成比)	(1.1%)	(1.1%)		
セグメント利益	433	375	▲ 58	△ 13.3
その他				
売上高	333	278	▲ 55	△ 16.5
(売上高構成比)	(0.4%)	(0.3%)		
セグメント利益	81	▲ 27	▲ 108	—

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 国内・海外売上高

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3・4四半期	2023年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
国内売上高	79,122	83,690	4,568	5.8
海外売上高	8,707	12,175	3,468	39.8
連結売上高	87,829	95,865	8,036	9.2

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率(対連結売上高)	9.9%	12.7%
-----------------	------	-------

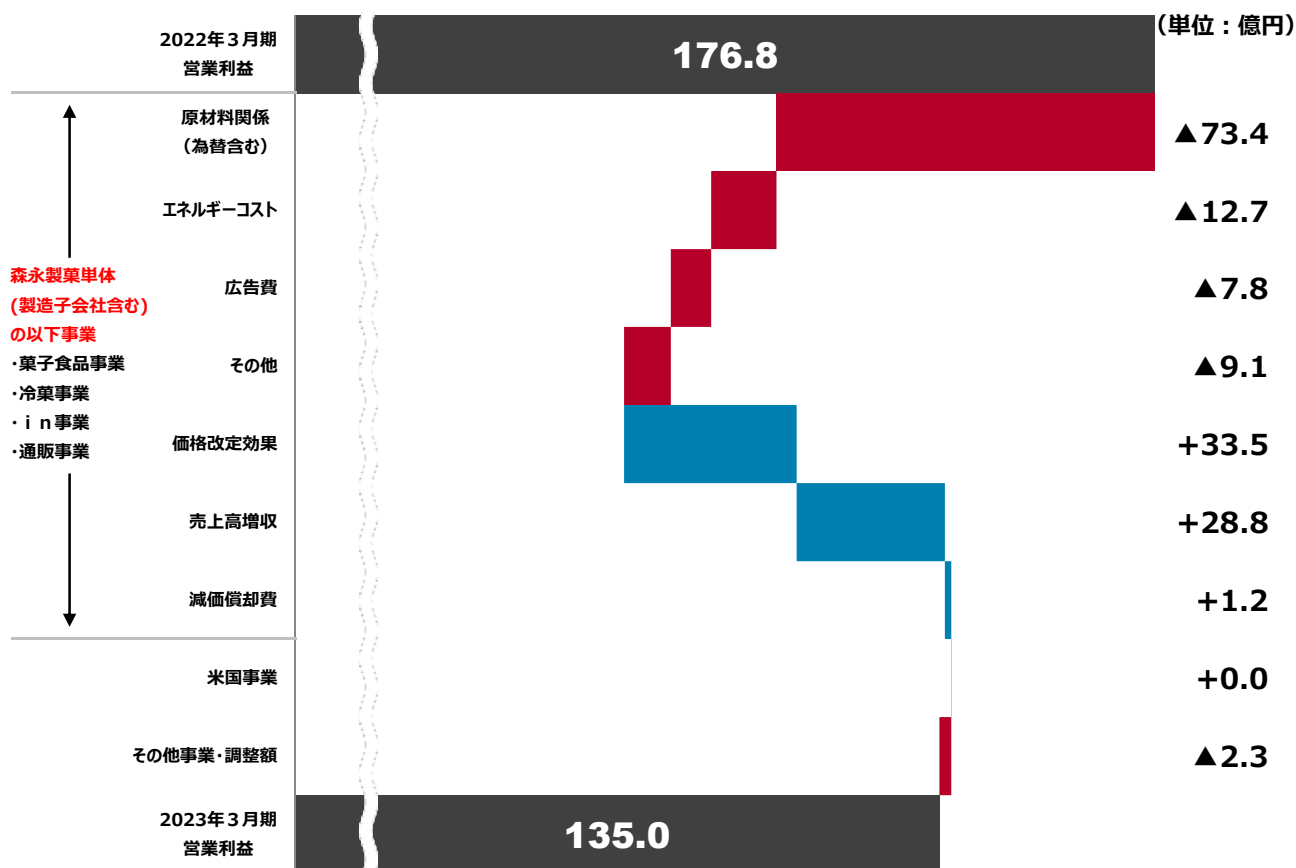
【通期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	181,251	194,300	13,049	7.2
営業利益	17,685	13,500	▲ 4,185	△ 23.7
経常利益	18,247	14,050	▲ 4,197	△ 23.0
親会社株主に帰属する当期純利益	27,773	8,500	▲ 19,273	△ 69.4

② 営業利益増減分析



③ 事業別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2022年3月期	2023年3月期 予想	増減額	増減率(%)	2022年3月期	2023年3月期 予想	増減額	増減率(%)
菓子食品事業	724	742	18	2.5	32	8	▲ 24	△ 73.4
冷菓事業	401	404	3	0.5	48	32	▲ 16	△ 33.3
in事業	280	306	26	9.4	68	66	▲ 2	△ 1.8
通販事業	91	102	11	12.4	3	5	2	52.8
事業子会社	138	151	13	9.3	7	8	1	7.3
その他	12	13	1	7.5	▲ 2	▲ 4	▲ 2	—
国内計	1,649	1,721	72	4.4	158	116	▲ 42	△ 26.1
米国事業	105	153	48	45.2	14	14	0	0.0
中国・台湾・輸出等	57	68	11	18.7	3	3	0	14.2
海外計	163	222	59	35.9	18	18	0	2.6
調整額等					0	▲ 0	▲ 0	—
合計	1,812	1,943	131	7.2	176	135	▲ 41	△ 23.7

(注)1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 菓子食品事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。